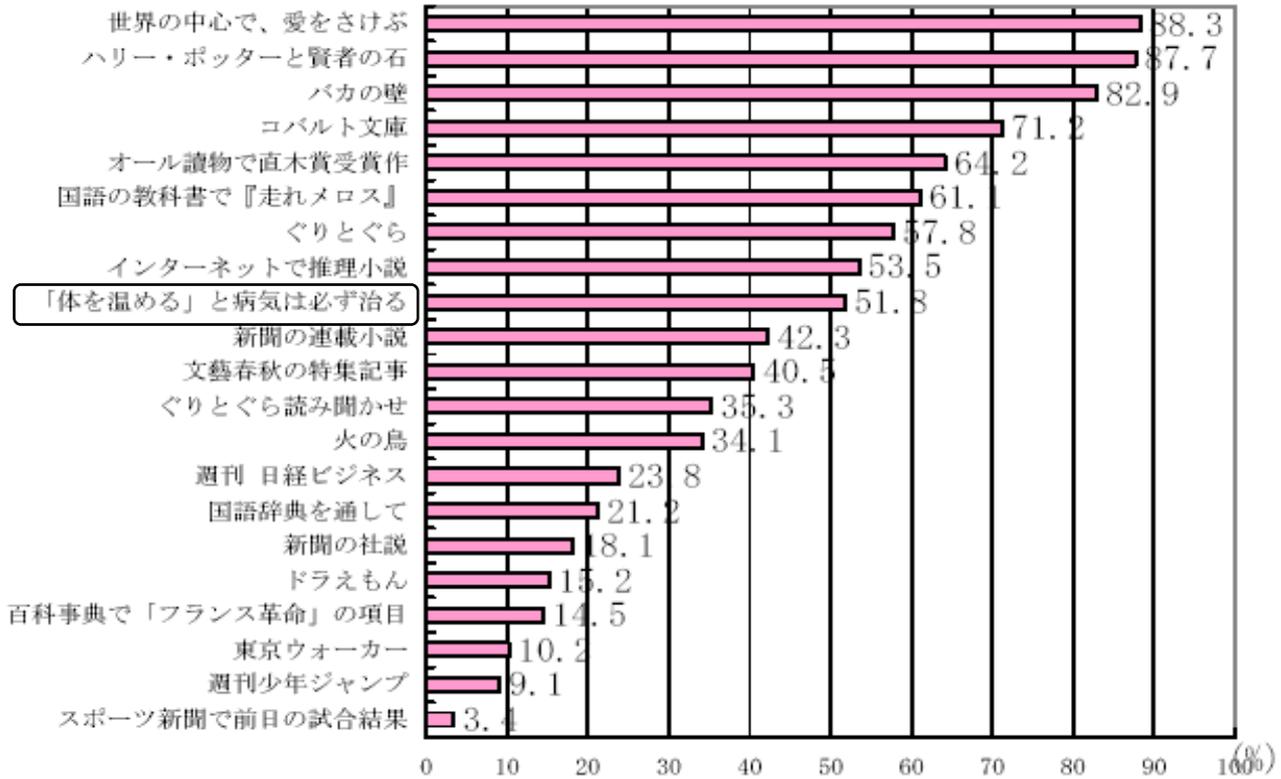
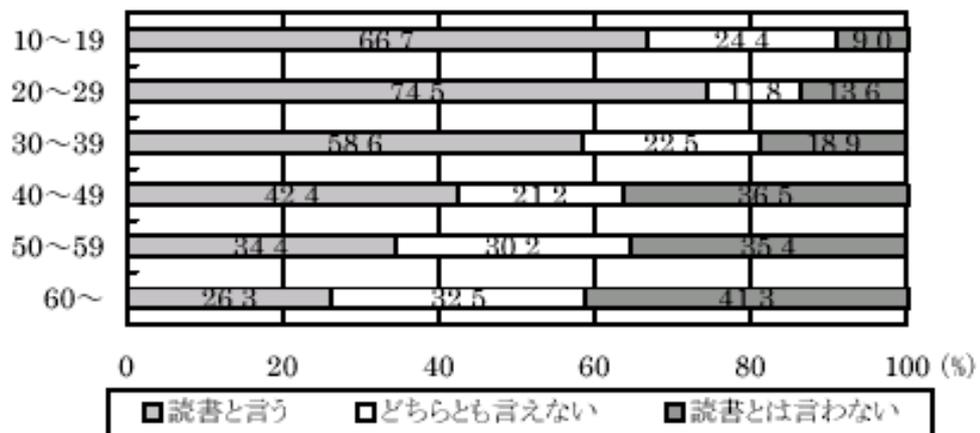


### 1. 「読書」の範囲について共通理解は必要ないのか？

- ・10代から60代までの男女819人に「あなたはこれを読書と言うか？」を尋ねた結果（上図）  
（糸賀研究室による調査、平成17年実施）



- ・上図で中位に位置する『「体を温める」と病気は必ず治る』を読書とする割合の世代比較（下図）



- 「読書」の範囲やとらえ方は、世代により、また各種読書調査により、それぞれ異なっている。
- 特に今期有識者会議でのポイントの一つ“高校生の不読率”に関して、多くの高校生が教科書や参考書、そしてコミックは「読書」しているのではないだろうか？

### 2. 国の子ども読書推進基本計画と都道府県・市町村の計画の関係はどうあるべきか？

- 読書の“現場”は家庭・学校・地域であって、地方創生の観点から、国や県はモデル事業や Best Practice を奨励し、市町村の自主的な取り組みを支援するだけでも良いように思われる。